

世界の主な火山活動

平成 25 年（2013 年）4 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

マナム（Manam） パプアニューギニア（図中 A）

8～16 日にかけて活発なストロンボリ式の噴火活動があった。少量の溶岩を含むストロンボリ式噴火で放出された岩片の多くは、島の南西の谷へ流下した。15 日 08 時 04 分に大きな爆発音がし、19 時 50 分頃には噴煙が 2 km の高さまで上がり、南西方向へ流れた。夜間には赤い火映がはっきりと見ることができ、島の南西の谷の上部に新たにできた火道から、溶岩が流れているのが確認された。期間中は、マナムから南南西へ 25～30 km 離れた地域でも、鳴動や爆発音が聞こえた。

トゥングラワ（Tungurahua） エクアドル（図中 B）

27 日以降、火山活動が活発化し断続的に噴火が発生した。28 日の朝には有色噴煙が 1～4 km まで上昇し、南西～西方向へ少なくとも 100 km は流れた。28 日午後には、爆発的噴火が数回発生し、18 時 30 分には噴煙が高さ 5 km まで上がり、南西方向へ流れ、その後西に流れた。27 日以降の噴火活動で最大で 30 km 離れた地域でも降灰が観測された。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

